

# こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.365 2018.5.30 連絡先 402-1622 >



## 厚生委員会視察 釧路市・札幌市へ

5月21、22、23日厚生委員会の視察に参加しました。北海道釧路市では、「生活保護自立支援について」「男女平等参画推進条例にについて」、札幌市では「環境プラザについて」「市民活動サポートセンターについて」視察を行いました。

釧路市の生活保護自立支援は、平成16、17年と国のモデルケースから始まりました。参加者の多くが自立へつながったことから、制度の拡充を行ってきました。完全な経済的自立とははならず、できる仕事をすることで収入を得るとともに社会参加をすすめています。市としては、道内の他市に比べて1人当たりの扶助費が少なくなっているということでした。ひきこもっている人の社会参加への支援も行って



釧路で大きく育った被爆二世クスノキを見つけました

いることに丁寧な対応を感じました。

札幌市の「市民活動サポートセンター」は、小さな市民団体も対象とし2年ごとの更新に加え毎年新規登録が150団体あり、今年3月末現在で1830団体が登録しています。センターには、自由に使えるフリースペースのほか、会議室（無料）、印刷室（実費負担）、私書箱のように使えるレターケース（有料・団体の住所として郵便物の受取も可）、ロッカーの貸し出し（有料）、事務所として月1万で借りられる4㎡のスペースなど、市民団体が活動しやすいような、様々な施設があります。また、相談活動や助成金情報の提供、さらに各団体や催しの紹介も行っており、ここに来れば、やってみたいことや行ってみたい催しなど何か見つかるという場所になっています。また、各団体を医療福祉・社会教育・人権平和など21のカテゴリーに分け、団体の活動がわかりやすいようにしています。視察をした時も、フリースペースでは多くの団体が話し合いや作業をしており、市民の方に十分利用されていると感じました。

### みち子のひとりごと 国民平和大行進

1958年6月20日、「核武装阻止・民主主義擁護のために」と西本あつしさんが、広島市の平和公園から原水爆禁止世界大会が開かれる東京に向けて一人で歩き始めたのが、平和行進の始まりです。「歩く」という素朴な行動に思いを託し、平和の願いは多くの市民の共感をひろげました。今年で60年目の平和行進。全国8割以上の自治体を通り、約10万人が参加しています。

和歌山市では5月26日、市役所前からけやき大通り、ぶらくり丁を経て京橋まで歩きました。

例年私は、平和のうたごえの伴奏の後、急いでアコを片付け、行進ではコーラー（みんなで唱和する言葉をマイクで先に言う係）をしていたのですが、今年からコーラーを若い人にバトンタッチでき、ホッとしています。

世界中から核兵器がなくなるまで運動は続きます。一歩でも二歩でも一緒に歩きましょう。ノーモアヒロシマ・ナガサキ。ノーモアヒバクシャ。



井本ゆづいちです



アメフトは、本場NFLの試合を録画して、解説を聞きながら、じっくり見るのが好きです。緻密な作戦と瞬時の判断力、高い身体能力が要求されるスポーツです。

ワイドレシーバーがあらかじめ決められた地点に向かって敵陣深く走り込み、ふり向くと、すでにロングパスのボールが飛

んできており、ジャンプしてキャッチ。タッチダウン成功と同時にスタジアムが大歓声に包まれる。

このスピード感、爽快感はアメフトならではです。

日大選手のラフプレー事件の事実が解明され、選手たちがのびのびプレーできるようになることを願います。

潮流  
2018・5・29

「朝ごはんは食べなかったんですか?」「ご飯は食べませんでした(パンは食べましたが、それは黙っておきます)」「何も食べなかったんですね?」「何も、と聞かれましても、どこまでを食事の範囲に入れるかは、必ずしも明確ではありませんので…」▼論点のすり替えや、はぐらかし。不誠実な政府答弁の手法を例えた“ご飯論法”が話題です。「では、何か食べたんですか?」「お尋ねの趣旨が必ずしもわかりませんが、一般論で申し上げますと、朝食をとるとするのは健康のために大切であります」▼労働問題に詳しい法政大の上西充子教授がツイッターに投稿しました。野党の追及をかわすまやかし答弁にうんざりさせられると。共感が広がっているのも同じ思いを抱く人が多いから▼きのうの集中審議もそうでした。モリカケ疑惑で首相夫妻の関与を裏付ける文書が出てきても口先だけで否定する。証拠を突き付けられてもごまかす。これでは議論ならず、関係者を喚問するしかありません▼直近の世論調査では、首相の説明は「信用できない」と回答した人が7割にも。自民の支持層でも「信用できる」を上回り、無党派層では8割を超えています(「毎日」)▼上西教授の投稿は「働き方改革」法案をめぐる加藤厚労相の答弁を問題にしたもの。「人をだますことを得意とする大臣に、働く人の命と健康にかかわる法案の質疑の答弁に立つ資格はない」。それは国民と国会を欺き続ける、この内閣のすべての人たちにいえることです。

市営住宅空き家入居者募集

申込書配布 6月1日～14日  
和歌山県住宅供給公社  
市役所8階住宅第1課

申込受付 6月13日、14日  
午前9時～午後7時  
和歌山県住宅供給公社

詳しくは6月市報をご覧ください、松坂までお問い合わせください

講演会

「核兵器禁止条約の意義と課題」

6月16日(土)  
14:30～16:30  
男女共生推進センター  
(あいあいセンター内)

講師 **富田宏治**氏  
原水爆禁止世界大会実行委員会  
国際会議宣言起草委員長

入場無料・どなたでも参加いただけます。  
同会場にて、和歌山市原水協の総会を  
13:30より行っています。

富田宏治さんの講演会を成功させる実行委員会